

単元名：

比例、反比例の利用

(全3時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年10月21日(木) 第3校時

授業学級 1年C組

授業会場 1年C組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

二つの数量の関係が反比例であると気づき、レンジ加熱目安を予測することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：お弁当を出力600Wの電子レンジで温める場合のレンジ加熱目安を考える。
- ・活動：表、式、グラフを用いて、「電子レンジの出力」と「レンジ加熱目安」の関係を見つける。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. お弁当の「レンジ加熱目安」の部分を見る。	○「W(ワット)とは何でしょうか。」 ◇電子レンジの出力を表していることを確認する。 ◇1500Wで1分20秒、1000Wで2分00秒、500Wで4分00秒	10分
	【学習問題】このお弁当を出力600Wの電子レンジで温める場合、レンジ加熱目安を何分何秒にすればよいだろうか。		
	2. 予想を立てる。	○「どのくらいの時間がかかりそうか予想してみましょう。」 ◇数の処理をするのではなく直観で考える。	
	3. 問題を解決するために方針を立てる。	○「二つの数量関係を捉えるにはどんな方法がありますか。」 ◇電子レンジの出力を x W、レンジ加熱目安を y 秒とする。	
	【学習課題】表、式、グラフを用いて、二つの数量の関係を見つけ、レンジ加熱目安を何分何秒にすればよいか説明しよう。		
展開	4. 二つの数量関係を表、式、グラフで表し、レンジ加熱目安を考える。	○「二つの数量にはどんな関係があるか考えましょう。」 ◇表、式、グラフを用いて関係を捉えているか確認する。	10分
	5. 全体で共有する。	○「レンジ加熱目安を何分何秒にすればよいでしょうか。また、それはなぜですか。」 ◇表、式、グラフのそれぞれのよさを確認する。	10分
	6. まとめをする。	○「表、式、グラフから『レンジ加熱目安』は『電子レンジの出力』に反比例することがわかる。よって、出力が600Wのときはレンジ加熱目安を3分20秒にすればよい。」 ◇表、式、グラフから反比例を捉えることができると学んだ意見を取り上げる。 ◇根拠と共にまとめる。	5分
	7. 確認問題を解く。	○「確認問題を解きましょう。」 【評価】表、式、グラフから反比例の関係を捉え、出力が600Wに対応するレンジ加熱目安を考えている。(観察)	7分
終末	8. 本時の学習を振り返る。	○「今日の授業の振り返りを書きましょう。」 ◇比例を利用する場面を考えたいという意見を取り上げる。	8分